

1. 略歴

1992年	University of California, Los Angeles Ph.D
1992年	京都大学大学院文学研究科博士後期課程
1992年4月	名古屋明德短期大学講師
1995年4月	日本福祉大学情報社会科学部助教授
1999年6月	名古屋大学情報文化学部助教授
2001年4月	名古屋大学大学院環境学研究科助教授
2006年10月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2010年8月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会心理学

b 研究課題

- 1) Mind reading and moral agency
- 2) Automaticity and self-regulation
- 3) Methodology and Science communication

c 主要業績

(1) 著書

唐沢かわり、『現代の認知心理学6：援助場面での社会的認知』、2010

唐沢かわり、『個人の中の社会：動機・意図・特性の推論』、2010

辞書・辞典・事典、海保博之他、『感情と思考の科学事典』：「基本情動理論」、「感情の認知的評価理論」、「感情の進化」、2010

唐沢かわり、『キーワード社会心理学：対人魅力、対人関係』、2011

(2) 論文

豊沢純子・唐沢かわり・福和伸夫、「小学生に対する防災教育が保護者の防災行動に及ぼす効果—子どもの感情や認知の変化に注目して」、『教育心理学研究』、2010

竹橋洋毅・唐沢かわり、「コミュニケーション、集団同一視、共有的認知の再帰的な強化過程の解明」、『実験社会心理学研究』、2010

大高瑞郁・唐沢かわり、「所得による生活保障の責任帰属バイアスと社会保障政策に対する態度の違い」、『実験社会心理学研究』、2010

橋本剛明・唐沢かわり・磯崎三喜年、「大学生サークル集団におけるコミットメント・モデル：準組織的集団の観点からの検討」、『実験社会心理学研究』、2010

唐沢かわり・大高瑞郁・竹内真純、「中高年齢者の失業に対する政策への態度規定要因：原因帰属からのアプローチ」、『社会心理学研究』、2010

唐沢かわり・月元敬、「情報処理スタイルが不思議現象の信じやすさに及ぼす影響」、『人間環境学研究』、2010

月元敬・橋本剛明・唐沢かわり、「間接的連想関係による虚記憶——職業ジェンダーを用いた検討」、『心理学研究』、2011

豊沢純子・唐沢かわり・戸田山和久、「大学初年時学生の分野別の科学のイメージ：天文学イメージの特異性」、『科学技術社会論研究』、2011

渡辺匠・唐沢かわり、「潜在的な自己評価と内集団評価の相互関係の検討」、『人間環境学研究』、2011

渡辺匠・唐沢かわり・大高瑞郁、「被介護者における家族介護と公的介護に対する選好度の規定要因および関係性について」、『実験社会心理学研究』、2011

大高瑞郁・唐沢かわり、「父親の政治的会話と子の内的政治的有効性感覚の関連」、『山梨学院大学法学論集』、2011

尾崎由佳・唐沢かわり、「自己に対する評価と接近回避志向の関係性：制御焦点理論にもとづく検討」、『心理学研究』、

82、450–458頁、2011.12

(3) 学会発表

国際学会

Takaaki Hashimoto & Kaori Karasawa, 「Function of apologies for the victims and the third-parties: Empathy, responsibility, attribution, and their antecedents.」、27th International Congress of Applied Psychology、2010.7.13

Yuko Shiraiwa & Kaori Karasawa, 「The effect of “Victim Participants” expression of emotions on the judgments of mock jurors」、27th International Congress of Applied Psychology、2010.7.15

Takumi Watanabe & Kaori Karasawa, 「Terror management and implicit group identification: The effects of mortality salience on overlapping mental representations of self and ingroup.」、27th International Congress of Applied Psychology、2010.7.15

Yuko Shiraiwa & Kaori Karasawa, 「Development of the Educational Game for Victimology (2): Validation」、国際犯罪学会第 16 回世界大会、2011.8.7

Takaaki Hashimoto & Kaori Karasawa, 「Effects of account-making on punitive motivations in an organizational context」、国際犯罪学会第 16 回世界大会、2011.8.7

国内学会シンポジウム・ワークショップ

唐沢かおり・戸田山和久・山口裕幸・出口康夫, 「社会心理学方法論の再検討5」、応用哲学会、2010.4.25

西村太志・黒川光流・森尾博昭・谷口淳一・唐沢かおり, 「我々は、グループ・ダイナミクスや社会心理学をどのように教えていけばよいのか」、日本グループ・ダイナミクス学会第 57 回大会、2010.8.28

吉田寿夫・村井潤一郎・唐沢かおり, 「心理学における統計教育のあり方」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.17

戸田山和久・唐沢かおり・山口裕幸・浦光博, 「社会心理学方法論の再検討パート 6—さらに面白い社会心理学のアプローチと方法論を求めて—」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.18

白岩祐子・荒井崇史・上市秀雄・水田恵三・唐沢かおり, 「犯罪心理学の研究対象としての市民：犯罪研究の新たな展開を目指して」、日本心理学会第 74 回大会、2010.9.21

唐沢かおり, 「集合知への期待と可能性：社会心理学の立場から」、第 2 回集合知シンポジウム、2011.1.27

山口裕幸・唐沢かおり・戸田山和久・出口康夫・一ノ瀬正樹, 「集団錯誤の呪縛」からの解放と、その後。—社会心理学方法論の再検討(7)—」、応用哲学会第 4 回大会、2011.9.24

萬屋博喜・唐沢かおり・信原幸弘, 「実験哲学と心理学のはざま」、哲学会第 50 回研究発表大会、2011.12.3

国内学会個人発表

大高瑞郁・唐沢かおり, 「視点取得と援助行動の関連：親子関係を対象とした検討」、日本グループ・ダイナミクス学会第 57 回大会、2010.8.28

Takumi WATANABE & Kaori KARASAWA, 「Implicit Group Identification in the Face of Mortality Salience」、日本グループ・ダイナミクス学会第 57 回大会、2010.8.28

橋本剛明・唐沢かおり, 「侵害者の謝罪が被害者／傍観者の動機づけに与える影響」、日本グループ・ダイナミクス学会第 57 回大会、2010.8.28

白岩祐子・唐沢かおり, 「強姦神話と被害者に対するネガティブ判断との関係」、日本グループ・ダイナミクス学会第 57 回大会、2010.8.28

白岩祐子・唐沢かおり・橋本 剛明, 「機会と結果における格差の帰属 1：収入格差を正当化する要因としての機会平等性認知」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.18

橋本剛明・唐沢かおり・白岩 祐子, 「機会と結果における格差の帰属 2：機会の統制可能性認知と社会的階層認知の関連について」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.18

大高瑞郁・唐沢かおり, 「親の同一視と若者の非正規労働者に対する態度の関連」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.18

渡辺匠・唐沢かおり, 「自己脅威状況におけるセルフアンカリングプロセスの検討」、日本社会心理学会第 51 回大会、2010.9.18

月元敬・橋本剛明・唐沢かおり, 「間接的連想関係による虚記憶：職業ジェンダーステレオタイプを用いた検討」、日本心理学会第 74 回大会、2010.9.20

白岩祐子・唐沢かおり, 「裁判員裁判における第三者効果の検討：「人々の判断は被害者感情に左右される」という認識と行動との関係について」、日本心理学会第 74 回大会、2010.9.22

荒川歩・白岩祐子・唐沢かおり, 「被害者学教育ゲーム作成の試み」、法と心理学会第 11 回大会、2010.10.16

Takehiko Ito & Kaori Karasawa, 「The Effect of the Out-Group Threat on Intergroup Emotion and Behavior」、
日本グループ・ダイナミクス学会第 58 回大会、2011
渡辺匠・唐沢かおり、「共通語と大阪方言に対する顕在的・潜在的評価の検討」、日本グループ・ダイナミクス学
会第 58 回大会、2011.8.24
橋本剛明・唐沢かおり、「社会的勢力感が謝罪への反応に与える影響—制裁の動機づけと情報への注意時間の 2 側
面からの検討—」、日本心理学会第 75 回大会、2011.9.16
竹内真純・唐沢かおり、「高齢化の予期がエイジズムに与える効果」、日本社会心理学会第 52 回大会、2011.9.18
白岩祐子・荻原ゆかり・唐沢かおり、「人々の法的判断における第三者効果の影響：裁判と被害者イメージの観点か
ら」、日本社会心理学会第 52 回大会、2011.9.18
伊藤健彦・唐沢かおり、「外集団脅威が差別感情・行動に与える影響」、日本社会心理学会第 52 回大会、2011.9.18
橋本剛明・唐沢かおり、「社会的勢力感が企業の釈明にともなう責任判断に与える影響」、日本社会心理学会第 52
回大会、2011.9.18
池谷光司・唐沢かおり、「情報処理方略への気分の効果に状況因が与える影響」、日本社会心理学会第 52 回大会、
2011.9.18

(4) 科学研究費等

文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、研究代表者、「組織の責任判断における統合的研究」、2010～
文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、研究代表者、「問題解決場面における社会心理学方法論拡張の可能性：
個人焦点の方法論を越えて」、2010～
文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、分担者(代表者は東大外)、「宇宙についての疑問における研究者と市民
の差異に関する国際比較研究」、2011～
文部科学省科学研究費補助金、唐沢かおり、分担者(代表者は東大外)、「科学画像の適切な使用に向けての基礎的・
総合的研究」、2011～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、九州大学教育学部、「社会的心理学」、2010.12
特別講演、東洋大学、「対応推論と集団心」、2011.7

(2) 学会

国内、日本グループ・ダイナミクス学会、常任理事、2010.4～2011.3
国内、日本社会心理学会、常任理事、2011.4～